藍住町 議会だより

第75号
平成25年11月25日
発行　藍住町議会
編集　議会だより編集委員会
徳島県板野郡藍住町奥野
字矢上前 52-1
TEL　(088)637−3127
FAX　(088)637−3156

http : //www.town.aizumi.tokushima.jp

あいずみファミリースポーツフェスティバル
(町民体育館)

シャッフルボード

カローリング

目　次

9月定例会
平成24年度一般会計・特別会計決算認定 …… P.2〜3
平成25年度一般会計補正予算 …… P.4
常任委員会〜主な質疑〜 …… P.6〜7
一般質問〜町政のここが聞きたい〜 …… P.8〜14
わたしの一言・議会のうごき …… P.16

9月定例会

認定

９月議会定例会が９月５日から20日までの16日間の会期で開会されました。上程議案のうち、決算認定８件、補正予算１件、条例改正１件、条例制定１件については、３つの常任委員会にその審議を付託し、最終日には全件原案のとおり可決されました。

一般質問では７人の議員が登壇し、町政について質問しました。

一般会計は 実質収支額 ３億3,099万円の黒字決算

歳入総額	103億9,207万円
歳出総額	97億3,168万円
歳入歳出差引額	6億6,039万円
繰越明許費繰越額	3億2,939万円
実質収支額	3億3,099万円
財政調整基金繰入額	3,310万円
平成25年度への繰越額	2億9,789万円

歳入歳出差引額から、繰越明許費繰越額（平成25年度の特定事業への繰越額）を差し引いた実質収支額は３億3,099万円の黒字となりました。

実質収支額の10％である3,310万円を財政調整基金（町の貯金）へ積立、残り２億9,789万円を平成25年度へ繰越しました。

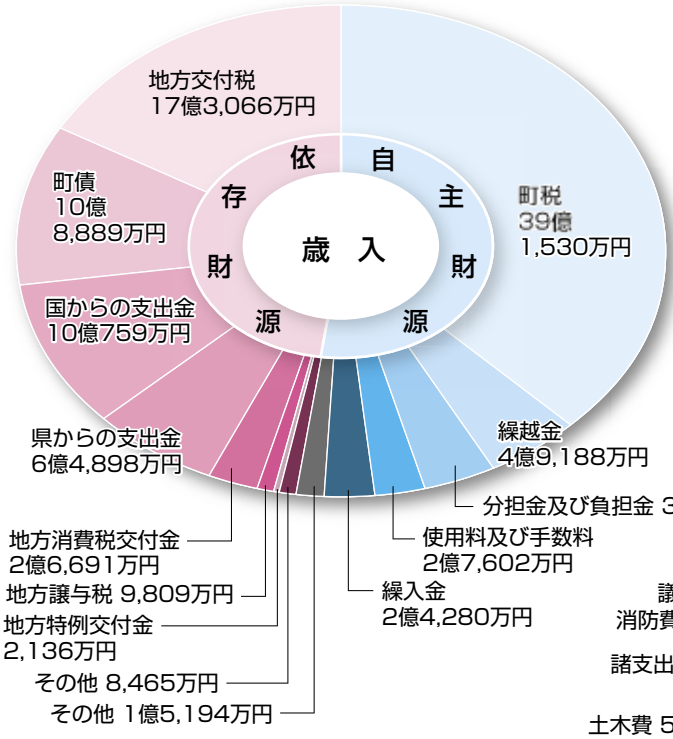
平成24年度決算の状況

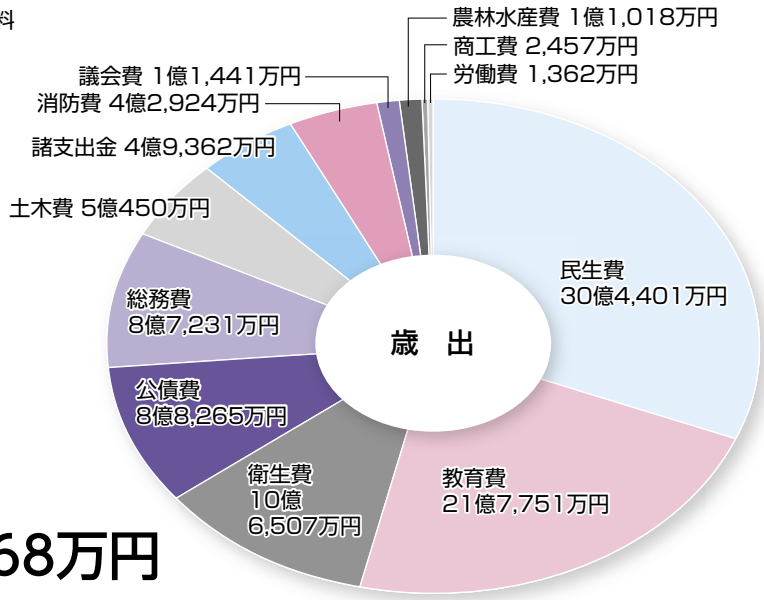
区分		歳入額	歳出額	繰越明許費	実質収支額
一般会計		103億9,207万円	97億3,168万円	3億2,939万円	3億3,099万円
特別会計	国民健康保険事業	31億8,929万円	30億491万円	0円	1億8,437万円
	介護保険事業	20億5,205万円	20億2,835万円	0円	2,370万円
	介護サービス事業	988万円	988万円	0円	0円
	後期高齢者医療事業	2億4,416万円	2億3,750万円	0円	665万円
	藍寿苑介護サービス事業	2億9,219万円	2億4,396万円	0円	4,823万円
	下水道事業	3億3,810万円	3億1,398万円	413万円	1,998万円

区分		収入総額	支出総額	収益的収支純利益（消費税調整後）及び資本的収支不足額
水道事業	収益的収支	5億1,562万円	4億1,748万円	9,089万円
	資本的収支	562万円	1億1,788万円	△1億1,226万円

※水道事業の資本的収支不足額については、内部留保資金等で全額補填しました

平成24年度 一般会計・特別会計 決算





健全化判断比率

指標	平成24年度	早期健全化基準※1	備考
①実質赤字比率※2	―%	14.33%	赤字なし
②連結実質赤字比率※3	―%	19.33%	赤字なし
③実質公債費比率※4	7.5%	25.0%	基準以下
④将来負担比率※5	2.3%	350.0%	基準以下

※1　早期健全化基準を一つでも超えると「財政健全化計画」を定めなければならない
※2　一般会計に生じている赤字の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの
※3　水道など公営企業を含む全会計に生じている赤字の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの
※4　借入金（町債）の返済額（公債費）の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの
※5　借入金（町債）などの現在抱えている負債の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

平成25年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ　3億4,500万円増額

予算総額　91億4,500万円

～主な補正の内容（1万円未満切り捨て）～

総務費

◆危機管理対策費　706万円
（防災ラジオ購入・自主防災組織の活性化助成）

衛生費

◆西クリーンステーション管理費　760万円

商工費

◆商工業振興費　350万円
（プレミアム商品券発行事業補助金）

土木費

◆一般町道新設改良費　3,000万円
◆緑化推進費（バラ園拡張・改修工事）　1,350万円

民生費

◆児童手当事業費　5,950万円
◆子ども子育て支援事業　366万円
◆保育所総務費　1億5,297万円
（藍住ひまわり保育園大規模改修補助金）

農業費

◆農業振興費　888万円
（共同利用機械施設等導入支援事業補助金）
◆農業振興費　1,051万円
（農業用機械導入の際の融資への補助）

教育費

◆町民体育館管理費　730万円

町からの主な報告

新町民体育館

8月29日に落成式を挙行し、9月1日から開館している。また、9月7日には落成記念コンサート「あいすむまちの音楽会」を開催する。皆様に愛され、親しんでいただける施設となるよう期待する。

なお、実業団女子バレーボールチームの親善試合については、招待チームとの日程調整が困難となり中止とさせていただくが、今後も親善試合の開催に向けて働きかけをしたい。

中学生の水難事故

事故を受け、関係機関との合同対策会議を開き、旧吉野川などの危険箇所に注意を促す看板を10か所設置することとしたほか、校外補導のあり方などの協議を行い、児童生徒の安全を確保するための啓発や指導徹底を確認した。

河北町から届いた礼状

三町合同企画展

群馬県東吾妻町、滋賀県愛荘町との合同企画展を9月14日から16日の3日間東京都の渋谷ヒカリエで開催する。また、三町による災害時相互応援協定についても9月14日に締結する。

山形県河北町の豪雨被害

7月18日、大雨により河北町で全町断水となったため、友好都市としてペットボトル入りの水とスポーツ飲料3360本をお送りした。河北町長をはじめ、児童生徒や園児の皆さんから礼状が届いており、庁舎1階ホールに展示した。

町民同士の安全安心を向上させる友好都市の交流を、なお一層進めたい。

南海トラフ巨大地震の被害想定

7月31日に公表された県の被害想定では、藍住町の建物被害は全壊・焼失が最大2100棟、半壊が3800棟。人的被害は死者140人、負傷者580人と想定されているが、行政や関係機関による積極的な防災事業の取組や住民一人一人の防災意識により大幅な減少が望める。今後もこれらのデータを基に、より一層防災事業を推進したい。

特別養護老人ホーム藍寿苑

移管先法人選定委員会において8月19日に1次審査、8月23日に2次審査が行われ、移管先法人に社会福祉法人凌雲福祉会が選定された。これを受け、同法人から移管された場合の運営方針、計画などを改めてお伺いした結果、藍寿苑をお任せできると判断し、同法人に移管することに決定した。

その他の議案・報告・諮問

町長提案

議　案

- 特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正……原案可決
  子ども・子育て会議委員や不在者投票施設の投票立会人の報酬を定めるための条例改正
- 藍住町子ども・子育て会議条例の制定……原案可決
  子ども・子育て支援法の規定に基づき、藍住町子ども・子育て会議を設置するための条例を制定
- 藍住町教育委員会委員任命の同意……奥村　康人
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意……山田　俊昭

報　告

- 平成24年度水道事業会計資金不足比率の報告
  資金不足なし
- 平成24年度下水道事業会計資金不足比率の報告
  資金不足なし

議員提案

議　案

- 道州制導入に断固反対する意見書……原案可決
  提 案 者　　矢部秀行議員
  提 出 先　　衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・副総理・内閣官房長官・総務大臣

諮　問

- 人権擁護委員候補者の推薦……廣瀬　浩美・富永　正夫・大須賀　博

請　願

- 原子力発電所に関する請願書（６月議会において継続審査となっていた請願）……不採択
  請 願 者　　原発からの撤退、自然エネルギーへの転換を求める徳島県連絡会　代表　服部　敏彦
  紹介議員　　林　茂　議員
- 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書……不採択
  請 願 者　　消費税の廃止を求める徳島県各界連絡会　代表　山根　憲一
  紹介議員　　林　茂　議員

「道州制導入に断固反対する意見書」の概要

我々町村議会は、「道州制は絶対に導入しないこと。」とする要望を決定し、政府・国会に対し、要請してきたところであるが、依然として道州制導入を目指す法案の国会への提出の動きがみられるなど、我々の要請を無視するかの動きをみせている。

これらの法案は、道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、ほとんどの町村においては事実上の合併を余儀なくされるおそれが高く、道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。

よって、我々藍住町議会は、道州制の導入に断固反対する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

陳情

1件の陳情があり、議員に配付しました。

▼「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情

陳情者　全国森林環境税創設促進議員連盟
会長　板垣　一徳

常任委員会　主な質疑

９月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。
各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。
主な質疑・意見については次のとおりです。

総務文教常任委員会

平成24年度一般会計決算

～街路灯のLED化～

問　交換比率と電気代は。

答　99％。電気代はひと月約63万円から約49万円まで減少し効果が出ている。

～危機管理対策費～

問　委託料を翌年度に繰り越した理由は。

答　地域防災計画改定を平成25年度に繰越したため。

問　備品購入費が72万円残っているが、計画どおり購入できたか。

答　防災倉庫、テント、発電機、毛布、簡易トイレ等を購入した。

～未収金対策～

問　給食費や税金等の未収金対策は。

答　給食費・幼稚園授業料未納者には年2回、町長・教育長・校長又は園長の3者連名で通知している。税金未納者には年3回催告書を送付し、それでも未納の場合は財産調査や差押え可能な預金等がないかを確認して差押えしている。

役場防災倉庫の備蓄品

～学校教育振興費～

問　各学校の図書費の執行は1学期中にできているか。

答　遅くとも夏休み中には執行するよう学校に要請している。

～適応指導教室～

問　キャロッ子学級利用者数は。4名の指導員で対応できているのか。

答　不登校児童生徒数は1学期末で36名、うちキャロッ子学級利用者は11名。今年度は2名体制であるが、10名弱の地域ボランティアが一緒に活動している。

平成25年度一般会計補正予算

～防災ラジオ購入～

問　配布先は。

答　一般住民の希望者に1台1千円で販売予定。

～ひまわり保育園大規模改修事業補助金～

問　建物は無償譲渡しており、移管先法人の責任で改修するのではなかったか。

答　認可保育所が行う新築や改修の費用に対する一般的な補助制度に基づいた補助金である。

～農業振興補助金～

問　事業内容は。

答　県単独事業で、徳島ブランド戦略を推進するための共同利用機械・施設等の導入に対する支援事業。3名がパイプハウスのリース導入を要望している。

～経営体育成支援事業補助金～

問　事業内容は。

答　人・農地プランで中心となる経営体と位置付けられた方の農業用機械導入の際の融資残を補助する事業。4名がトラクター購入の補助を希望している。

～いじめ等問題行動の予防研究指定校事業～

問　事業内容は。

答　町内各小学校3年生を対象に、問題行動が起きないよう子供の自己肯定感を育てるという予防教育を鳴門教育大学と連携して実践しており、県からの補助で各小学校20万円ずつ予算計上している。平成27年度からは小学3年生から中学1年生までを対象に進める計画である。

～小中学校の施設修繕～

問　修繕は各学校からの要望か。

答　各学校にヒアリングを行い、緊急度の高いものを予算計上している。

～市町村地域連携コンサート業務委託料～

問　委託料の内容は。

答　あいすむまちの音楽会開催に伴うオーケストラの招へい費用や宿泊費用、舞台設営の業務委託料など。

～藍資料館のエアコン取付等工事～

問　450万円計上しているが、何台分の工事か。

答　3台分であるが大門修理費も含まれている。

～緑の広場管理費～

問　トイレが非常に不潔だと聞く。管理はどこに委託しているのか。

答　清掃はシルバー人材センターに委託し、1日数回清掃してもらっている。

【意見】
どの程度管理されているか一度確認するべきである。

原子力発電所に関する請願書

6月議会において総務文教常任委員会に付託され、継続審査となっていた「原子力発電所に関する請願書」については、審査した結果、賛成少数により不採択とすべきものと決定した。

あいすむまちの音楽会

建設産業常任委員会

平成24年度 一般会計決算

問 町内の排水対策は進んでいるか。

答 多大な費用を要するため、どの方策を採るか決定していない。前川や千間堀については早急な対策が必要と考える。

平成24年度 水道事業会計決算

問 収益的支出の特別損失の内容は。

答 行方不明や倒産等で回収不能になった水道料金の不納欠損分である。

問 平成24年度未収金688万円の内容は。

答 3月29日が金曜日で年度末となったため額が大きいが、現在の徴収率は99・6%、未収金は約180万円に減少している。

問 過年度未収金3392万円への対応は。

答 町内に住んでいる方の過年度の未納は不納欠損せずに残している。過年度分も払っていただき減らしているが、毎年100～150万円くらいの未収金が発生している。

問 水道料金滞納者の不動産が競売にかけられた時点で未収金を回収できないのか。また、競売の配当は税金等公共が優先されるのではないか。

答 地方税法で債権の優劣が決まっている。水道料金は使用料であり私債権となるため裁判所への交付要求はできないと思われる。

問 裁判所から競売の通知が来た場合、課長会議での事務連絡は行っているか。

答 税務課へ文書が来るが、他課への連絡はしておらず改めたい。

問 震度7の地震が来たら水を給水できるのか。

答 新浄水場は耐震設計となっている。地震時には遮断弁が閉まり約7600トンの貯水が可能。井戸から取水できれば、ろ過器で浄水を作ることもできる。

問 民間業者の宅地造成時に町の水道管延長工事費用を一部町が負担しているが、決算書のどこに記載されているか。

答 少しの延長は営業費用のうち配水及び給水費の材料費・工事請負費、数十mの延長は資本的支出の建設改良費のうち配水設備工事の材料費・工事請負費である。

【意見】

ある意味では町の補助であり別に計上してはどうか。

平成24年度 下水道事業会計決算

問 資金不足比率では資金不足はないとのことであるが、使用料収入より普及促進対策の助成金額が多いのであれば、資金は不足しているのではないか。

答 事業がまだ軌道に乗っておらず、一般会計からの繰入れを行っているため資金不足はない。

厚生常任委員会

平成24年度 一般会計決算

問 現在までに設置された浄化槽補助基数は。

答 平成13年度から平成24年度までの新規設置基数は1855基である。

平成24年度 介護保険事業会計決算

問 介護予防事業の内容は。

答 介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に膝や腰のストレッチなどの運動を事業所に委託している。また、各老人憩いの家ではいきいきサロンを実施している。

介護予防事業の運動教室

平成24年度 国民健康保険事業会計決算 ～出産育児一時金及び葬祭費～

問 支給件数と1件当たりの支給額は。また、外国人に対しても同様の扱いか。

答 出産育児一時金は53名で1人当たり39万円又は補償制度の3万円を加えた42万円。葬祭費は39件で1件当たり2万円。外国人に対しても同様である。

平成24年度 藍寿苑 介護サービス事業会計決算

問 国では要介護1・2を特別養護老人ホーム入所基準から外すという答申が出されているが、受皿はあるのか。

答 訪問介護、訪問通所デイサービス、訪問リハビリやショートステイと絡めて利用していただく考えである。

平成24年度 介護サービス事業会計決算

問 法改正で要支援1・2が介護保険事業から市町村事業に移行すれば、住民の負担が増えるのではないか。

答 サービスに格差が出るのではないかという異論もあり、不確定要素があると聞いている。

各会計の収入未済額

問 収入未済額とは、3月31日までの保険税等が5月31日までに収納できなかったということか。

答 現年度分については出納整理期間があるため、5月末以降に残っている分で、滞納繰越分は3月末までに収納できなかった分である。

藍寿苑の収納未済額は、既に退所された方の個人負担金で、現在も徴収に回っている。

町政のここが聞きたい

一般質問

猛暑が続く小中学校へエアコン設置を

慎重に検討したい

問　①児童生徒及び職員の健康を保護することと、より良い教育環境をつくるのが町の役目である。文科省の学校環境衛生基準では、望ましい教室の温度は25～28度と示しているが、教室の最高室温は何度か。
②大切な子供たちを学校が預かっているという意識を持っているのか。熱中症で事故が起きてからでは遅すぎる。生徒や父母からのエアコン設置の要望を受け止めているのか。

答　①一部の教室では34度まで上昇した日もあった。扇風機の運転、こまめな水分補給の指導、教師による児童生徒の体調観察や気配りを指導している。
②保護者からはエアコンや扇風機の設置、水分補給の強化等の要望が寄せられており、本年度は教育委員会も各学校を回り現場を確認したが、概算では設置工事には2億円余り、電気代も毎年4千万円必要となる。
快適な学校生活が送れるようできることからさせていただいているが、設置に関しては慎重に検討したい。

林　　茂　議員

現場労働者に賃金引上げを

本年4月から公共工事設計労務単価が15%引き上げられた

問　①国土交通省は公共工事の設計労務単価を引き上げた。その理由と町の受け止め方は。
②積算された賃金は、末端で働く労働者に減額されずに支払されること。そのためには入札制度も総合評価方式に改善することが必要でないのか。

答　①熟練技能者の建設業からの退出や若年労働者の建設業への就職の減少を防ぐことが目的と考えている。
②県の経営審査によるランク付けにより町の格付を行っているため、県にその意見を伝えたい。

夏休み中に全面改修された藍住北小学校1・2年生トイレ
（写真中央は多目的トイレ）

学校は洋式トイレに替えてほしい

財政状況を考慮し、検討したい

問　①子供たちは洋式トイレで育ち、和式トイレは嫌だということから、学校が終わるまで我慢をしたり、学校で大便するのが嫌で朝食を食べないで学校へ行っている話も聞いている。洋式化により排せつを我慢することも減り、子供たちの健康を守ることにもつながる。
②トイレの和式と洋式の設置状況は。洋式に切り替える計画は。
③子供や父母の声をよく聞き、トイレアンケートをとること。

答　①各学年のトイレのうち、一つは洋式に改修している。本年度は北小・南小の1・2年生トイレで洋式化を含めた全面改修を行い、乾式清掃の床への変更、照明のLED化など、明るく清潔な印象を持ってもらえるよう工夫している。
②和式が7割、洋式が3割。
③トイレに限らない環境面におけるアンケート調査を検討したい。

町政のここが聞きたい

一般質問

通学路の安全対策について

昨年に引き続き危険箇所への対策を講じたい

飯田校長と保護者の方が立しょうしている交差点（藍住東小学校）

問 ①夏休みも終わり、元気に子供たちが通学する姿が見られるが、ＰＴＡや付近住民の方からの要望、危険箇所に対する対策は。
②南、北、西の各幼、小学校において集団登校がされているが、東小学校においては集団登校はしていない。保護者からもどうして東だけが集団登校をしていないのか、との声が多いが、どのように対処していくか。

答 ①今年度は2学期開始までに各小学校で校区内通学路の点検と危険箇所の確認を実施した。
②東小学校では保護者の要望により平成14年から集団登校を実施していないが、安全確保のため、立しょう箇所を増やすなどの対策を取っている。
集団登校の実施要望があり、集団登校が可能な地区があれば、学校や保護者と連携して実施に向けた計画づくりを進めたい。

小川　幸英　議員

勝瑞地区の水害対策について

毎年台風の時期には県に浚渫をお願いしている

問 台風17号から変わった温帯低気圧や前線の影響で、9月4日朝から降り続いた大雨は、県内の広い範囲に浸水、被害をもたらした。この雨の影響で勝瑞地区、特に千間堀、南千間堀周辺道路が冠水、中学生の下校時と重なって、水がひざ下までくる中、自転車を押して下校する危険な状態が見られた。千間堀、南千間堀周辺道路は、夜でも水が冠水状態だった。ポンプアップはされていたか、また、ポンプは何台あるか。
今後の対策は。

答 千間堀下流に勝瑞排水機場・源九郎排水機場の2基があり、9月4日の大雨の時には2基とも降り始めから稼働していた。
毎年台風の時期には勝瑞地区に限らず、正法寺川、前川についても県に浚渫をお願いしている。ポンプ増設も要望しているが、実現には至っていない。

町エネルギー政策について

省エネルギー推進、廃油回収、外灯のLED化、太陽光発電の外灯設置等を実施

問 ①町エネルギービジョン策定ができているか。
②太陽光発電等の推進について、東日本大震災以降、原子力に頼らない政策が急務といわれているが、町施設、学校への普及策や、町民の住宅への太陽光発電の普及策はどうなっているか。

答 ①現在策定していないが、地球温暖化対策実行計画や再生可能エネルギー導入計画を策定し、実施している。
②地域の防災拠点となる公共施設への太陽光発電の導入や自然エネルギービジョン策定、また、一般家庭についても県内の状況を把握し、財政状況を見ながら検討したい。

その他の質問

◆新町民体育館について
◆敬老の日について

町政のここが聞きたい

一般質問

一番の情報伝達「緊急地震速報」について

防災行政無線の点検等に努めたい

問　現在、地域によって防災行政無線のスピーカーの向きが悪く、聞こえない地区があると聞くが、各地区協に協力していただき、無線の聞こえない地区の把握をし、地震・台風・津波・竜巻・大雨にと対策を講じていただきたい。

答　防災行政無線は委託業者が定期的に保守点検を行っており、年に数回実施している気象庁の導通試験でも正常に作動している。今後も点検等を怠らず、正常に作動するよう努めたい。

防災行政無線スピーカー

防災無線室の防災行政無線地図表示盤
（スピーカーを設置している45か所を表示）

永濵　茂樹　議員

災害避難・救助対策、道路の拡幅について

検討したい

問　災害避難時には、道路が混雑して渋滞になり、消防車・救急車も救助に行けない状況になると思われるので、町内の道路状況をよく把握されている板野東部消防組合第2消防署の方々とよく相談されて「道路の拡幅場所」を検討していただきたい。災害時、非常事態が起きての対処より「先手の対応」である。行政と消防署との場所の把握、連携で、町民を災害から守る安全対策。早期に着工計画へと対策を講じていただきたい。

答　災害時の緊急車両出動時に、倒壊家屋・塀・看板・一般車両等が道路にはみ出すことが予想される。消防署とも情報を共有しながら検討したい。

災害避難場所の周知

避難所まで徒歩や自転車で参加する防災避難訓練を実施している

問　防災の月の9月に、行政と各地区協ごとに民生委員、消防団ＯＢの方などで避難場所の把握として、年1回「災害予防健康ウォーキング」の実施推進を。実施により、避難場所までの距離・時間・道路状況の把握・危険箇所の点検・近隣の方々との親睦にもなる。町民の健康保持対策、推進を。

答　避難訓練参加者は、自宅から避難所までを徒歩や自転車で移動し、危険箇所や所要時間の確認を行っている。今後は参加人数の増加に努め、避難所の周知を図りたい。

健康ウォーキングの実施は、関係機関や各地区協での健康づくりとして実施していただき、避難路の確認や危険箇所の把握につながるよう防災担当として協力したい。

その他の質問

- 住宅耐震化・自治体の補助活用について
- 地震・津波対策
- 竜巻・積乱雲（スーパーセル）対策
- ラジオ体操・みんなの体操推進について

町政のここが聞きたい

一般質問

大震災の減災について

引き続き防災・減災対策を進めたい

濱　眞吉 議員

問　徳島県はマグニチュード9の南海トラフ大地震が発生した場合の市町村別の被害を試算し、公表しました。死者が最も多いのは徳島市の1万400人、県全体の死者は3万1300人、しかし減災対策を進めると2100人まで減らせる軽減効果も示しています。死者の原因は津波が86%を占め、2万6900人であり、藍住町の死者は140人であるが、藍住町は減災対策に真剣に取り組めば、死者などないのであります。それは初期火災と倒壊家屋の被災者を救助できれば達成できるのであります。そして藍住町には使命があり、津波被害の過酷な東部沿岸地域の人々は救援を求め、その方々を支援しなくてはなりません。防災担当者に、現時点で減災、防災対策の状況を質問します。

答　本町の被害が少ない場合は、他市町村の支援や救援を行わなければならないが、まずは藍住町民の生命と財産を守るための取組が必要である。

　具体的な減災対策として、住宅の耐震化、家具転倒防止対策の周知や助成、防災講座・避難訓練の実施、要援護者台帳の整備、非常食・毛布・発電機・簡易トイレ等の資機材の備蓄、防災倉庫の設置、食料や資機材調達のための事業所との協定や医師会との医療救護派遣の協定などを行っている。

　また、防災マップ、防災計画、避難所マニュアル、業務継続計画等の作成も進めている。

週6日制実施について

多面的かつ柔軟に考えていきたい

問　今年の2月下村博文大臣は、公立学校の週6日制導入について具体的な検討に入ることを明言しました。なぜ今、週6日制の復活なのか。それは学習指導要領の改正で教科時数が増え、週5日制だと難しい状況であり、学校行事を減らす等のひずみが出ているのであります。藍住町においては週6日制への準備状況はどうなのか、実施に問題があるのか教育長に質問します。

夏休み「阿波考古学教室」
（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

答　教職員の土曜勤務は、労働基準法等関係法令の改正、教職員数を増やすことによる膨大な人件費増、教職員の多忙感により現場の混乱と疲弊が生じるなどの問題点がある。

　このため文部科学省では、土曜授業は体験型・地域一体型の授業を中心に、講師は地域住民や保護者にお願いすることを前提としているが、人材確保や講師謝金等のコスト負担といった新たな課題も生じる。

　本町では教育委員会主催で自由参加型の夏休み各種教室を開催しており、このような子供たちの学びの場の提供を一層充実させたい。

夏休み「箏体験教室」（藍の館）

町政のここが聞きたい

一般質問

子供のネット依存について

関係諸機関と連携してネット社会の負の面から子供たちを守りたい

問 8月1日、厚生労働省研究班は、子供たちを取り巻く情報化社会は、スマートフォン（多機能携帯電話）の普及で、手軽にいつでもどこでもインターネットが可能となり、事態は深刻化、中高生のネット依存症は増加傾向、全国で51万8千人と発表しました。本町の実態と、ネット依存予防への取組を尋ねます。

答 小学校では高学年を中心に何割かの児童が、中学校では半数以上の生徒が携帯電話を保有しているようである。

町内各小中学校とも情報モラル教育の実践、外部の専門家等による説明会の開催など、子供たちへのインターネットの危険性等についての啓発活動や、中学校入学説明会での保護者向けの説明会、教育委員会だよりを通じた注意喚起等も行っている。

西岡　恵子 議員

防災訓練の状況について

参加率向上を図りたい

問 昨年度は北小学校と東中学校、本年度は東小学校と西小学校で防災訓練が実施されましたが、参加した西小学校において人数が少なかったと感じました。各地域の対象人数と参加人数、アンケート結果について、また、今後の訓練での対応を尋ねます。

答 参加率（推測）は北小学校5％、東中学校7％、東小学校8％、西小学校3％。

西小学校でのアンケートでは「訓練に参加してよかった」「次回の訓練にも参加したい」との回答はともに約93％。もっと防災情報が欲しい、参加者が少ない等の意見もあった。防災意識を高めることにより参加率向上を図りたい。

介護保険法改正の検討について

高齢者を要支援者に移行させない施策が必要

問 国において2015年度を目指し介護保険法の改正の議論があり、特別養護老人ホームの入所基準の見直し（要介護3からの入所、比較的軽度の要介護1・2は在宅での生活支援）や、要支援者に対するサービスは介護保険から外し、市町村に委ねると検討されていますが、町はどのように捉えていますか。また、本町においても高齢化は確実に進んでおり、地域で支えあう取組が必要。対応について尋ねます。

答 介護予防事業で実施している脳の健康教室や運動教室、いきいきサロン等を更に充実させる必要がある。

「藍愛グループ」や認知症サポーター養成講座の受講者等による介護予防の取組や要支援者の見守り等のボランティア活動を、将来的には社会福祉協議会と協力して組織化したいと考えている。

いきいきサロン（住吉老人憩いの家）

その他の質問

◆病児病後児保育「こどもの城」休止について

町政のここが聞きたい

一般質問

公共施設の耐震化について

取壊しや建て替えが必要

福祉センター

勤労青少年ホーム

古川　義夫 議員

問 緑の広場周辺に建築されている福祉センター、町民会館、勤労青少年ホーム等不特定多数の人が出入りする公共施設も四十数年が経過し、老朽化が著しく、現在の耐震基準を満たしていない施設の耐震化について、どう取り組もうと考えているのか。

答 これまで学校施設を重点的に進めてきたが、緑の広場周辺の施設については建築年度が古く、老朽化しており、耐震化や改修にも多額の費用が必要となるため、取壊しをし、必要な施設については建て替える必要がある。資金調達や財政状況とも照らし、時期や整備方法を検討したい。

地震等の災害時の対策として、キャビネットなどの転倒防止策、落下物対策、危険箇所の確認や避難路の確保、避難訓練等も行いたい。また、特に危険と思われる部屋等があれば使用中止も考えていきたい。

大規模な災害時には、藍住中学校や町民体育館への避難誘導を考えている。

排水路対策の進捗状況について

優先順位を考慮し、年次的に予算計上して取り組みたい

問 既存排水路の能力等の検証及び排水路の全体構想の進捗状況はどうなっているか。

答 平成23年度に実施した基礎調査に基づき、平成24年度に内水排除の方策を雨水全体計画として策定したが、膨大な事業費となり、実施には数十年かかるため財政的にも難しいと思われる。

しかし、台風や大雨の度に冠水しているジェイテクト前の対策として、高速道路の北側側道の排水路を利用して、前川に放流する計画を現在検討中である。

雨水全体計画については、早急に時期を選んで議会へ報告したい。

町政のここが聞きたい

一般質問

公有財産、備品等の売却、処分はどのようにしているのか

公有財産売却は一般競争入札、備品処分は町や備品購入先の業者が行っている

問　47都道府県全ての自治体で利用しているヤフーが提供する官公庁オークションで公有財産や備品の売却によって財源確保に貢献していると好評だ。透明性が高く全国誰でも参加できる。広報手段として最適。高額落札が期待できる。参加者に対して公平等。本町においてもこのシステム利用を研究してはどうか。

答　インターネットによる公有財産売却は、財務規則の改正、様式やガイドライン作成などの整備が必要であり、他団体での実施状況や方法などを研究したい。

西川　良夫　議員

タブレットPCを活用した授業が注目されている

今後の検討課題としたい

問　国も進めるタブレット活用の授業は、教育関係者や識者も基礎学力を高め、思考力、判断力、表現力など子供たちの才能を限りなく引き出す効果があると評価している。さらに何よりも子供たちの学習意欲が向上との報告も。デジタル化社会の中で活躍できる人材育成のために教育行政の努力に期待している。

答　タブレット端末導入の問題点として、膨大な費用がかかる、技術の向上により導入してもすぐ機種やソフトが陳腐化するなどが挙げられる。

　タブレット端末を含めた学校教育のICT化については、助成制度を含む今後の国の動向や学校の希望、子供の状況などを見据えながら今後の検討課題としたい。

食生活改善教室（藍住西小学校）

がん教育の推進

健康管理教育、食育、基本的生活習慣形成教育の中で進めたい

問　年間30万人の死亡。日本人の2人に1人が一生の間に何らかのがんにかかる実情は国の非常事態ともいえる。生活習慣病が原因とされるがん発症の原因は子供のころから始まっているため、がん教育の重要性が指摘されている。小学生の30％が生活習慣病予備軍といわれ、食生活や生活習慣のあり方は学校で教えることが不可欠となっているが、認識を伺いたい。

答　がんの発症率はバランスのとれた食事をすることや喫煙をしないことにより、著しく低下するといわれている。

　町内の各小中学校では、食育の実施、給食試食会での保護者への呼びかけ、保健センターや食生活改善推進協議会「藍愛グループ」と連携した食生活改善教室の開催、また、喫煙の害についての啓発教室、薬物乱用防止教室などの開催により、自分の健康を守ることの大切さを教えている。

　今後も学校と相談しながら、一層がん予防教育に力を入れたい。

森志郎議員に感謝状

9月20日、藍住町議会議員に対する感謝状贈呈式が行われました。

森志郎議員は、平成4年2月に初当選し、本町議会議員として20年にわたり精励され、議長及び副議長を歴任するなど議会の円滑な運営と町勢発展に貢献されたとして、石川町長から感謝状が贈呈されました。

森　志郎議員

定例会案内

次の定例会は12月です。
次号は2月に発行します。

●お問い合わせ●
議会事務局 ☎637-3127

本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局までお気軽にお越しください。なお、傍聴席の定員には限りがありますので、御了承ください。

議員研修等報告

板野郡町議会議員研修会

10月11日、板野郡町議会議員研修会が板野町「さくらホール」で開催され、本町議会から12名の議員が参加しました。

〈講演〉
「右肩下がりの時代における持続可能なまち」
名城大学
都市情報学部教授
昇　秀樹　氏

板野郡町議会議員研修会

四国四県町村長・議長大会
四国地区町村議会議長会研修会

9月24日、四国四県町村長・議長大会が高知県高知市で、また、11月5日には四国地区町村議会議長会研修会が愛媛県松前町で開催され、小堀克夫議長が参加しました。

四国四県村長・議長大会

四国地区町村議会議長会研修会

投稿規定

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関する御意見をお寄せください。

①住所・氏名・電話番号を明記。
②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
③字数は500字以内。
④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

わたしの一言

笠木　宮城　照彦さん

私がこの町に来た42年前は、辺り一面の稲穂が、レンコンの花が陽の光を浴びて、爽やかな風に包まれていました。四方を稲穂とレンコン畑に囲まれ、セミやコオロギが鳴き、トンボやチョウ等が飛び交い、虫たちの季節の音楽会でにぎわっていました。ぷーんと臭う田舎の香水。さとうきび畑で育った私には、とても懐かしく感じられたものです。たんぼのあぜ道に沿うように流れる、小さな水の恵みの中で、おたまじゃくし、メダカ、どじょうすくいと、自然の中で遊ぶ子供たちの姿は、まさに日本の原風景を見ているようでした。この町にはそんなすばらしさがまだ残っています。

近年、「ゆめタウン」のような大型商業施設やコンビニが数多くできました。おかげで私たちの暮らしは良くなりました。反面、子供たちや高齢者、障がい者が安心して遊べる場所が少ないように思います。♪菜の花を摘みし孫との春日和♪一句詠むすばらしい四季折々の美しさがこの町にはあります。大型ショッピングセンターも必要ですが、「桜づつみ公園・親水公園」のような、癒しの空間も必要かと思います。

親水公園

議会のうごき

8月

5日　行政課題研究会（徳島市）
23日　農業振興地域整備促進協議会
26日　議会運営委員会
27日　板野郡町議会議長会定例会
県・町事業意見交換会（板野町）
28日　板野西部青少年補導センター組合議会臨時会（板野町）
29日　藍住町町民体育館落成式
30日　民生委員推薦会

9月

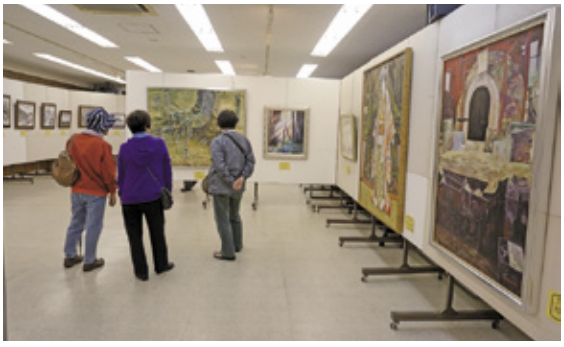
5日　9月議会定例会開会
議会全員協議会
議会運営委員会
6日　建設産業常任委員会
7日　あいすむまちの音楽会
9日　厚生常任委員会
10日　総務文教常任委員会
13日　板野西部青少年補導センター組合定例監査（板野町）
あいずみ商工会納涼祭反省会
15日　藍住東中学校体育祭
16日　敬老のつどい
17日　6月議会定例会一般質問
19日　国民体育大会壮行会
20日　6月議会定例会閉会

10月

1日　なくせじん肺キャラバン要請行動来庁
11日　板野郡町議会議員研修会（板野町）
12日　身体障害者ふれあい大会
16日　民生委員推薦会
30日　議会だより編集委員会
31日　鳥取県町村議会事務協議会視察来町

29日

四国四県町村長・議長大会（高知県高知市）
28日　北幼・北小、南幼・南小、西幼・西小運動会
29日　東幼・東小運動会



藍美展（福祉センター）

編集後記

肥満や高血圧、高血糖といった生活習慣病が原因で脳に障害が起きて認知症となったり、寝たきりで介護が必要になったりする国民が増え、深刻な社会問題になっている。

国民の健康増進が進めば、医療や介護関連の予算の抑制にもつながるのは言うまでもない。問題は健康づくりをいかに進めるかだろう。まずは、国民一人一人が日ごろから自分の体や健康に関心を持ち、バランスのとれた食生活や毎日の運動などを実践しなければならない。

ただ、一人ではくじける場合もあるため、家族や職場、地域が応援するなど、一体となって取り組むことが大切である。

議会だより編集委員会

委員長　矢部秀行
副委員長　東條義和
委員　西岡恵子
委員　永濵茂樹
委員　森志郎